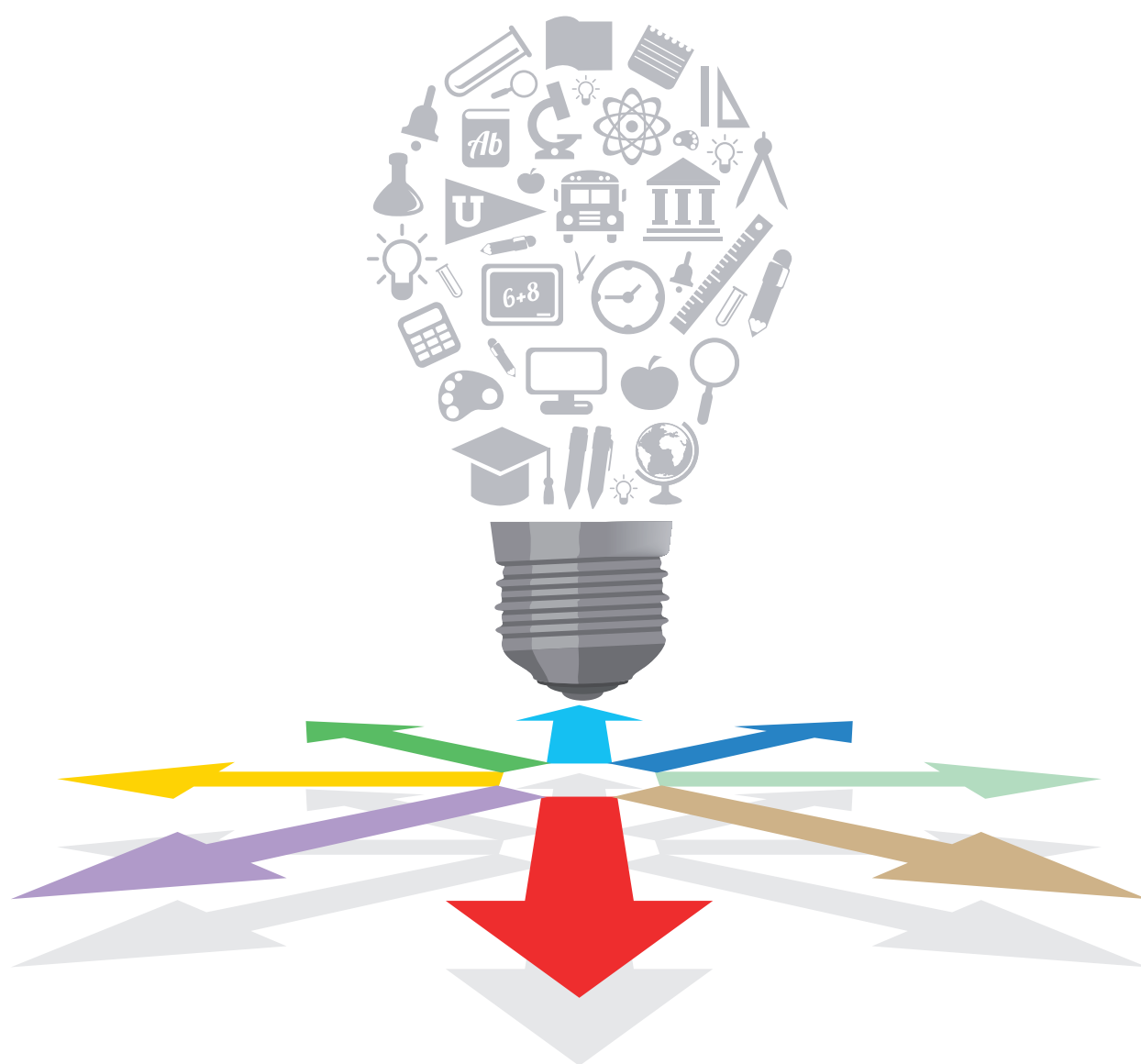


進学ガイド

2019–2020



国立大学法人 九州工業大学



九州工業大学は、産業界でとても有名な日本の国立大学です。
大企業に多数の人材を輩出し、インドネシア、マレーシア、タイ等にも
本学で博士号を取得した大学教員や研究者が多数います。

Kyushu Institute of Technology (Kyutech) is a national university very wellknown in the industrial world in Japan. Many of our graduates have joined scientific and engineering lines of leading companies. We are also proud to have produced a number of academics who completed our Ph.D. programs and teach in Asian countries such as Indonesia, Malaysia and Thailand.

九州工業大学ホームページ (Kyutech official website)

<http://www.kyutech.ac.jp/> (日本語)

or

<http://www.kyutech.ac.jp/english/> (English)

情報工学部学生係 (Student Section of IIZUKA Campus)

jho-gakusei@jimu.kyutech.ac.jp



1. 情報工学府の特色ある教育プログラム 1

2. 九州工業大学大学院情報工学府の概要 2

3. 大学院入学から修了まで 4

4. 九州工業大学大学院情報工学府入学までの流れ 6

5. 九州工業大学大学院情報工学府における経済支援制度 8

6. 在学生・修了生の声 10

7. 情報工学府 就職先一覧 12

8. スチューデント・レジデンス 13

1. 情報工学府の特色ある教育プログラム

本学府では修了後のキャリアパスを意識することを目的に「コースモジュール」として体系だった学びが可能です。

ICTクラウドコース

社会の具体的な課題を情報技術により解決するリーダー的技術者が必要とされています。本コースでは、社会と最新の情報技術の関わりを理解し、クラウドを含む多様で複合的な情報技術を高度に活用し、新しい価値や新産業を創出できる高度な知識とスキルを備えた情報技術者を育成します。そのため、インターンシップや課題解決型グループ学習、ソフトウェア開発プロセスに関わる演習などを通して実践的な能力を養います。

連携機関

- ・九州経済連合会(九経連)
- ・カーネギーメロン大学ソフトウェアエンジニアリング研究所(CMU-SEI)

需要創発コース

実践的演習を通じて、新たな需要を創発できる人材の養成を目指すコースで、産学官協働による実践的な大学院教育プログラムです。コースの中核となる大学院実践演習では、提示される実際の問題に対応して、プロジェクトの立ち上げ、チームの形成、問題点の把握、課題の設定、ソリューション(解決方法)の提案、仕様書の策定、試作品の作成、納品に至るまでの過程に取り組みます。

プロジェクトの 具体例

- ・スクールバスのチケットシステム構築(地元情報システム会社)
- ・ビーコンを活用した位置計測ソリューション

ライフサイエンスコース

ゲノム配列情報をはじめとする各種生命情報の蓄積が著しい今日、生命科学と生物工学はその枠組みや手法を大きく変貌させています。タンパク質や遺伝子など生命現象の各要素を個別的、分析的に理解するとともに、生物システムを全体的、総合的に把握する必要があります。このような認識に基づき本コースでは、分子レベルから細胞、生物個体など上位階層までの着実な知識体系と方法論を修得し、またそれをダイナミックに応用する態度を養います。

デジタルエンジニアコース

デジタルエンジニアコースは、「知的自動化生産設計モジュール」、「CAEモジュール」、「精密工学モジュール」の3つのモジュールで構成され、自動車や家電等の設計、生産、検査に欠かせない生産情報処理、製造デザインや精密測定、金型の基本技術を学ぶことができます。さらに、金型の製作に欠くことのできない最新の解析技術、材料技術を学ぶことができます。こうした技術や知識を学ぶことで、製造業全般において生産技術に関するグローバルエンジニアとして活躍するための基礎知識を深めることができます。

2. 九州工業大学大学院情報工学府の概要

コンピュータと情報システムを基盤とし、さまざまな産業分野や人間生活に資する高度な技術開発や創造性豊かな研究に携わる人材を養成します。

- ① 博士前期課程では、情報科学・工学の知識を基礎とし、問題を発見し解決する能力及び論理的なコミュニケーション能力を身に付けた上で、各専門分野で活躍できる能力を有する人材を養成します。
- ② 博士後期課程では、博士前期課程の素養と能力に加え、実践的な研究開発の経験に基づき、深い専門知識と高い志をもって自立して活躍できる能力を有する人材を養成します。

課 程	専 攻	専 門 分 野	基礎となる学部の専門学科群／博士前期課程の専門分野群
博 士 前 期	先端情報工学 Advanced Informatics	知 能 情 報 工 学 Artificial Intelligence	知 能 情 報 工 学 科
		電 子 情 報 工 学 Computer Science and Electronics	電 子 情 報 工 学 科
	学際情報工学 Interdisciplinary Informatics	システム創成情報工学 Systems Design and Informatics	システム創成情報工学科
		機 械 情 報 工 学 Mechanical Information Science and Technology	機 械 情 報 工 学 科
		生 命 情 報 工 学 Bioscience and Bioinformatics	生 命 情 報 工 学 科
	情報創成工学 Creative Informatics	情 報 創 成 工 学 Creative Informatics	(上 記 5 学 科)
博 士 後 期	情報工学 Computer Science and Systems Engineering	知 能 情 報 工 学 Artificial Intelligence	知能情報工学専門分野
		電 子 情 報 工 学 Computer Science and Electronics	電子情報工学専門分野
		システム創成情報工学 Systems Design and Informatics	システム創成情報工学専門分野
		機 械 情 報 工 学 Mechanical Information Science and Technology	機械情報工学専門分野
		生 命 情 報 工 学 Bioscience and Bioinformatics	生命情報工学専門分野
		情 報 創 成 工 学 Creative Informatics	情報創成工学専門分野

概 要

情報システムの基盤となるソフトウェア・ハードウェア、ネットワークの知識を修得し、コアコンピュータサイエンスやICT技術を含めた情報科学・情報工学の基盤となるシステムやその要素技術の高度化をもたらす先端的な開発を行うことのできる人材を養成します。コンピュータサイエンスや情報システム開発などの教育研究を行う「知能情報工学専門分野」、エレクトロニクス、コンピュータ・LSIや情報通信ネットワークなどの教育研究を行う「電子情報工学専門分野」の2専門分野で構成します。

ICT技術を応用したシステム創造のための知識・技術、デジタルエンジニアリングやロボティクス、生命工学に関連した情報システムの開発やバイオインフォマティクスなどの対象応用分野の高度な知識・技術を修得し、情報科学・情報工学の基盤的成果に活用・展開して、新たな学際領域を開拓する人材を養成します。ICT技術を応用したシステム創造のための教育研究などを行う「システム創成情報工学専門分野」、デジタルエンジニアリングやロボティクスなどの教育研究を行う「機械情報工学専門分野」、生命工学に関連した情報システムの開発やバイオインフォマティクスなどの教育研究を行う「生命情報工学専門分野」の3専門分野で構成します。

社会情勢の変化により産業界で発生したさまざまな問題から課題を拾い上げ、最新の情報技術を原動力に、実務的な解決・実現を図る道筋作りのための知識を修得し、社会のニーズに基づく産学連携を推進して、情報技術で社会を駆動していく姿勢を身に付けた人材を養成します。「情報創成工学専門分野」は、専任の教員に加え、情報工学部5学科に対応する5専門分野にまたがる教授陣で構成します。

情報科学・情報工学の高い専門性に基づいて、情報技術の発展に有用な先端的な基盤技術を開発したり、いろいろな分野の科学技術との融合により実在する種々の課題に対処できる革新的な情報システムを構築したり、更にIT技術の将来を先取りし社会の仕組みまでを変革するグローバルリーダーとなり得るような、最先端の情報工学的アプローチを総合的に取り扱うことのできる姿勢を身につけた人材を養成します。従来の特攻や狭い研究分野の壁を越えた融合型の特攻であり、博士前期課程の3専攻6専門分野で構成します。

3. 大学院入学から修了まで

より広く、より深く、より高く、大学院での学習機会を提供します。

以下に博士前期課程の2年間及び博士後期課程での3年間の流れの一例を示します。



博士後期課程



4. 九州工業大学大学院情報工学府入学までの流れ

Application Procedures for Admission to Graduate School of Computer Science and Systems Engineering of Kyutech

1

希望する研究分野の教員を見つける Finding a potential supervisor

九州工業大学ホームページなどを見て、自分が指導を受けたい研究分野の教員を探します。

Search a potential supervisor who conducts research in a specific field you are interested in on the Kyutech website.

2

教員にコンタクトをとる Contacting the potential supervisor

教員又は事務部にメール連絡し、研究室に受け入れてもらえるかどうか打診します。
メールには、学歴や自身の研究テーマも記載してください。

Contact the supervisor or the university admissions office by e-mail to discuss opportunities for you to participate in the laboratory. In your e-mail, please include your academic backgrounds and your research topics.

3

教員との面談 Arranging a meeting with the potential supervisor

出願する前に、希望する教員と面談などにより十分に意思疎通を行ってください。
学会の場で会ったり、インターネット面談を行ったりすることもあります。

Before applying for admission to Kyutech, please discuss fully with the supervisor to see if your research topics correspond to the supervisory competences. You can meet your potential supervisor at academic conferences or, in some cases, you may have an interview with the supervisor on the Internet.

4

インターネットを利用した出願手続き Application procedure using the Internet

募集要項の出願資格、出願期間、出願手続、選抜方法及び試験日等をすべて確認した上で、インターネットを利用した出願手続をすすめてください。

出願手続き ①インターネット出願登録
②入学検定料(30,000円)の支払い ※(日本政府)国費留学生は検定料不要
③募集要項に記載の提出書類(①で印刷したものとその他の必要書類)を出願期間内に郵送又は持参

◆インターネット出願登録期間

第1次募集(4月・10月入学者) 5月上旬

第2次募集(4月入学者) 1月上旬

※入学検定料の支払い期間も同様

※インターネット出願登録は出願期間に先立って事前に登録が可能

◆出願期間(提出書類受付期間)

第1次募集(4月・10月入学者) 5月下旬

第2次募集(4月入学者) 1月下旬

インターネット出願登録の手順は、下記URL【インターネット出願登録サイト】により必ずご確認ください。
【インターネット出願登録サイト】
<http://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-internet-application.html>

After checking the information necessary for applicants, such as the required qualification, application period, application procedure, selection process, and the date of examination, you should follow the procedure below to apply to the university.

1. Online registration

2. Pay the entrance examination fee (30,000JPY) *Japanese Government Scholarship Students are exempted from paying the entrance examination fee

3. Prepare all required documents listed of the application guidelines and send by post or bring directly to the office

Application period and Online registration period

◆Online registration period

First Session (April 2020 Enrollment/ October 2019 Enrollment) Early May, 2019

Second Session (April 2020 Enrollment) Early January, 2020

*The payment period of the examination fee same as above

*The online registration period start one week before application period. It is available for pre-online registration.

◆Application period

First Session (April 2020 Enrollment/ October 2019 Enrollment) Late May, 2019

Second Session (April 2020 Enrollment) Late January, 2020

Please check the link below for the online registration and the flowchart of application procedure.
【Online registration website】 <http://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-internet-application.html>

5

受 験 Taking the admissions test

九州工業大学飯塚キャンパスで受験するか、インターネット面接で受験します。
(インターネット面接は原則として社会人及び外国在住の外国人のみ、協議のうえ実施することがあります。)
受験の方法は、上記2・3で先生に相談してください。

You need to take the admissions test at the Kyutech IIZUKA Campus or have an online interview.
Please discuss with your prospective supervisor (cf. 2, 3) the best possible way to take the test.

6

合格者発表 Announcement of test results

合格者の発表は本学ホームページで閲覧可能です。

The test results will be announced on the Kyutech website.

7

入学手続 Admissions Procedure

入学試験に合格したら、入学手続を行います。

入学金282,000円。(他に、授業料535,800円／年)ただし、(日本政府)国費留学生は納入不要です。

入学料と授業料は、全額または一部を免除する制度があります。希望者は入学時に申請が必要です。

ただし、入試成績・在学中の成績、経済状況によっては免除が認められないこともあります。

Once you are accepted, you need to complete the admissions procedure.

Admission Fee: 282,000yen (Apart from this, you need to pay tuition fees of 535,800 yen per year.)

* Japanese Government Scholarship Students do not need to pay the admission fee nor the tuition fees.

All or part of the admission fee and of the tuition fees can be waived upon application.

However, application for fee exemptions may sometimes be disapproved due to your admissions test results, poor academic achievements and personal finance.

8

留学生のみ 入国ビザ取得手続 Applying for a visa

日本に入国する前に、入国ビザを取得する必要があります。手続は、大学事務部がサポートします。

Before landing in Japan, you need to obtain a visa. The university admissions office will assist with your visa application.

9

入 学 Enrollment in Kyutech

すべての手続が終わったら、本学へ入学します。

After completing all the above procedures, you will be enrolled as a Kyutech student.

募集要項は九州工業大学のホームページから閲覧できます。

Application guidelines are available on the Kyutech website.

<http://www.kyutech.ac.jp/>

5. 九州工業大学大学院情報工学府における経済支援制度

[illegible]

	制 度	対 象	制度概要
奨学金	九州工業大学 基金事業(奨学事業)	博士後期課程の 社会人新入生	本事業は、学ぶ意欲と能力のある大学院博士後期課程社会人学生を対象に、入学時の経済的支援を実施することを目的としています。 【奨学金】入学金相当の半額141,000円を給付する。採択人数は年間10名。 前年度の所得金額が750万円以上の者は対象外です。
	九州工業大学 基金事業(奨学事業)	留学生	本事業は、学ぶ意欲と能力のある博士後期課程の留学生を対象に、経済的支援を実施することを目的としています。 【奨学金】基本額 30,000円/月 年間20名程度 ※他の奨学金を受給している場合は、その差額分を本奨学金として支給する。
学会参加旅費等	各教育プログラム による経済支援	全学生	本学独自の教育プログラムのうち、補助金、国や地方公共団体からの支援、民間企業等外部の団体からの支援、大学独自の支援等により、教材費、国内外への旅費、その他の経済支援を行っているものが多数あります。
	学会発表等に関する 奨学金	全学生	国外で開催される国際的な学術研究機関、団体が主催する学会又は研究会等で研究成果の発表等を行う際の費用の一部を支援することにより、国際感覚の涵養及び修学・研究意欲の向上を図る。 【奨学金】一人一回につき 30,000円~100,000円。※地域により異なる。 在学中に3回まで。
雇用制度	日本学術振興会 特別研究員	博士後期課程学生	日本学術振興会による、優れた若手研究者に研究に専念する機会を与えることによって我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的として、大学院博士後期課程在学者に研究奨励金を支援する制度です。 特別研究員 DC1(博士課程後期第1年次在学学生) 200,000円/月 DC2(博士課程後期第2年次以上在学学生) 200,000円/月
	リサーチ・ アシスタント(RA)	博士後期課程学生	教育的配慮の下に、研究補助者として本学が行う研究プロジェクト等に参画させ、これに対する給与を支給して経済的支援を行う制度で、勤務1日当たり上限6,000円、月額60,000円を限度に支給します。 ※但し、国費留学生又はそれに準じる学生、修業年限を越えて在籍するオーバードクター、日本学術振興会特別研究員は除きます。
	ティーチング・ アシスタント(TA)	全学生	教育的配慮の下に教育補助業務に従事させ、これに対する給与を支給して経済支援を行う制度です。
住居	スチューデント・ レジデンス	全学生	日本人学生と外国人留学生との混住寮で、1棟20戸、1戸あたり3部屋となっており、各戸にはキッチン、シャワールーム、トイレ、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、テーブル、エアコン等を備え、各部屋にはベッド、机、クローゼット、照明器具、エアコン等を備えています。 入居期間は原則として1年間です。(申請により延長することも可能です) ●寄宿料(月額) 15,000円(食費・生活費等は含まない) ※留学生は7,000円減免されることがあります。 ●光熱水料(月額) 約5,000円~10,000円程度
	国際交流会館	留学生	外国人留学生や外国人研究者の居住施設で、各部屋にはキッチン、冷蔵庫、ベッドやその他の家具・調度品を備え、他に共通施設として研修室、談話ホール、洗濯室等があります。 入居期間は原則として6ヶ月以内です。 ●寄宿料(月額) 単身室5,900円、夫婦室9,500円、家族室14,200円(食費・生活費等は含まない) ●光熱水料(月額) 約5,000円~10,000円



スチューデント・レジデンス。
外国人留学生及び日本人学生の居住施設です。



スチューデント・レジデンスは、外国人留学生
と日本人学生との国際交流の場です。



国際交流会館。
外国人留学生及び外国人研究者の居住の場です。

6. 在学生・修了生の声

様々な分野で、国内外で、活躍しています。



学際情報工学専攻
平成29年3月博士前期課程修了
修士(情報工学)
Etsuko Kamikumasu

上熊須 悦子

現在：株式会社日立製作所

私はもともと医療分野に興味があり、何かしらの形で医療に携わりたいと考え生命情報工学科に入学しました。学部4年生のとき、進路に迷っていたところ大学院に医療イノベータ(ユーザーに求められる医療サービス・医療機器の開発者)を育成するコースができることを知り、学んでみたいという思いから大学院進学を決めました。

大学院では、コースでも用いられているデザイン思考の教育をテーマに研究をしています。研究は道無き道を自分で描きながら進んでいかなければいけないため、どうしたらいいのかわからなくなることもあります。迷った時は原点に戻り再度考え直すことを大切に、研究を進めているところです。なにより自分の興味のあることを突き詰めることができる、これが私のモチベーションになっています。

大学院では、学部の時よりも自分で計画を立てやすくなるため、空いた時間を有効に利用することを心がけています。特に異文化交流に興味があり、留学生とルームシェアをしたり、海外インターンシップや海外研修に参加したりしています。積極的に行動することで様々な人と出会い、刺激を受け、自分を見つめ直すことができるので、自分を知るよい機会になっています。

大学院卒業後は、医療サービスの仕事に携わりたいと考えています。国内だけでなく、海外でも活躍できる技術者になれるよう、人とのつながりを大切に日々努力していきたいと考えています。

九工大は、学生のチャレンジをサポートする環境が整っていると思います。学生の時間は限られていますので、研究、留学、課外活動等、様々なことに挑戦することをおすすめします。



情報システム専攻
H28年3月博士後期課程修了
博士(情報工学)

Lam Duc Khai

(ベトナム)

現在：Vietnam National
University Ho Chi Minh
City
University of Information
Technology
Vice dean of Computer
Engineering Department

I have spent three and a half years in Ochi-Lab, Iizuka campus, Kyushu Institute of Technology (KIT), Japan for the Ph.D course. This duration gave me many great and unforgettable experiences. In my lab, all people were very kind, they were always willing to help me when I asked them, I could practice speaking Japanese with them every time. When I had any difficulties in the research, the professors and the staffs in my lab always consulted me to find the solutions. I also miss my Japanese teacher, Hirata sensei, she not only taught me Japanese but also gave me many delicious foods. I really appreciate Kobayashi-san, who is in-charge of international students. Our student life in KIT was comfortable because of her assistances.

There were many activities for international students to enjoy during the school year such as Barbeque camping, Strawberry picking-up and the local company tours. Beside studying in school, I also had chances learn and share the culture with local Iizuka people by joining many activities hold by the Iizuka local authority, such as the Yamakasa festival, International foods festival and the Host family program. Through these activities, I had many good local Japanese friends.

I will always miss them in my life. Thanks KIT, thanks Iizuka and thanks Japan.



情報科学専攻
H28年3月博士後期課程修了
博士(情報工学)
Hiroshi Eto

江藤 宏

現在：九州大学経済学部助教

私は九州工業大学情報工学部を卒業後、同大学の大学院の博士前期課程及び後期課程を修了しました。現在は、九州大学経済学部にて助教をしており、学部生に対して情報処理の授業を行っています。

九州工業大学で学んだこと、経験したことは数多くありますが、有意義であったことのひとつとして研究が挙げられます。研究課題に対して結果を得ることは容易な事ではありませんが、研究を行う自体は研究室に入れば容易です。研究を進めるためには、知識を蓄えることや研究の現状を把握すること、研究内容を伝えることなど様々な経験が出来、また、研究を通して多く人とも関わりが持てるため、研究はとても良い経験になると思います。



情報科学専攻
H28年9月博士後期課程修了
博士(情報工学)
Yoshiharu Nakamura

中村 良治

現在：株式会社三井ハイテック
リードフレーム事業本部
技術統轄部 第二生産技術部

大学卒業後企業に勤め、企業で働く社会人の立場で博士後期課程へ進学しました。進学を思い至るきっかけは、企業とは異なる環境である大学に身を置き、研究内容の根本を見つめ直し新しい芽を見つける機会を得たいというものでした。担当して下さった先生からは新たな視点からのご意見や、私になかった知識を数多く頂き、研究をより深く掘って進めることができ成果をあげることができました。

また単位取得のため講義を受講しましたが、社会に出る前とは違った意識で講義にのぞめ、非常に楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

九州工業大学は、積極的な姿勢があれば様々な機会を与えてくれる場所であり、私も論文誌への投稿に加え、国内そして海外の学会での発表を経験させて頂きました。企業内にはなかなか出会う機会のない様々な研究者たちと接点を持て、議論できたことは大きな財産になっています。

学ぶ喜びを実感させてくれ、また私が成長する機会を与えて頂いた九州工業大学に感謝しています。



情報工学専攻
H29年3月博士後期課程修了
博士(情報工学)

Tran Thi Thao Nguyen
(ベトナム)

現在：九州工業大学大学院
情報工学研究院 研究職員

I am a graduate student of Prof. Hiroshi Ochi at Kyushu Institute of Technology. I will be graduating in March of 2017 with a doctoral degree in Electronics and Computer Science. I'm very fortunate to have this wonderful opportunity to be a part of Digital Signal Processing laboratory (DSP Lab) as well as making lifelong international friends and unforgettable memories these past three years. Thank you, the Japanese Government, for the MEXT Scholarship Program, which has allowed me to continue pursuing my dream and earning my doctoral degree without financial burdens.

One of my dreams is to be able to study in a professional environment with great advisors and well equipped laboratory facilities. My laboratory where I've spent most of my time in a day to engage in learning valuable knowledge from my professors and seniors as well as doing researches is the best place. Living in Japan and traveling to different countries such as United States, Germany or Qatar for international conferences while trying new foods, meeting friendly and welcoming local people and understanding their unique culture has been the highlight of my graduate experience.

Besides research life, I can enjoy real Japanese life thanks to the support of the student staffs. They are very kind and friendly as those in a family. They have organized many activities to learn about the Japan culture, cuisine and travel. From such activities, I can learn more about the life in Japan and especially Japanese language. Moreover, my Japanese ability can be improved more by attending the Japanese classes which are free for all international students at Kyutech.

Within three years of study here, apart from the knowledge, I have learned about the discipline, the collectivism and the punctuality of Japanese people. I hope that I can bring all the good things which I studied in Japan to share with others as much as I can.

7. 情報工学府 就職先一覧

平成30年3月卒業・修了者の就職先一覧です。

就職・進学先	計	男	女
九州工業大学大学院	4	4	0
Alliance Software Incorporated	1	1	0
GMO インターネット	2	2	0
iCAD	1	1	0
MHI エアロスペースシステムズ	1	1	0
MJC	1	1	0
NEC ソリューションイノベータ	5	4	1
NOK	1	1	0
NTT テクノクロス	2	2	0
NTT ドコモ	1	0	1
Razest	1	1	0
SCSK	4	4	0
SOLIZE Enjinariang (株)	1	1	0
STNet	1	1	0
SUBARU	2	2	0
T & D 情報システム	1	1	0
TOTO	1	1	0
アイシン・エイ・ダブリュ	1	1	0
アイシン・コムクルーズ	1	1	0
アイシン精機	2	2	0
アズビル	1	1	0
アドソル日進	1	1	0
アビームコンサルティング	1	1	0
アルプス技研	1	1	0
いい生活	1	1	0
イトーキ	2	2	0
エクサ	1	1	0
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ (NTT コミュニケーションズ)	1	1	0
エヌ・ティ・ティ・データ (NTT データ)	1	1	0
エヌ・ティ・ティ・データ九州 (NTT データ九州)	3	2	1
エヌ・ティ・ティ・ネオメイト (NTT ネオメイト)	1	1	0
オービック	1	1	0
オムロン	3	3	0
オリンパス	1	1	0
キシヤ	1	1	0
キャノン	2	2	0
キャノンITソリューションズ	1	1	0
キューブス	1	0	1
キリンビジネスシステム	1	1	0
ケー・オブティコム	1	1	0
ケー・ティー・システム	1	1	0
システムソフト	1	1	0
スズキ	1	1	0
スタンレー電気	1	1	0
セイコーエプソン	1	1	0
ソニー LSI デザイン	1	1	0
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング	2	2	0
タカラベルモント	1	1	0
タダノ	1	1	0
テクノス	1	1	0
テクノプロ テクノプロ デザイン社	1	1	0
テクノプロ テクノプロ・R & D 社	1	1	0
デジオン	1	1	0
テラプローブ	1	1	0
テルモ	1	0	1
デンソー	1	1	0
デンソーテクノ	1	1	0
トーマスラボ	2	2	0
ドコモ CS 九州	1	0	1
トヨタ自動車	2	2	0
トヨタ自動車九州	3	3	0
トヨタ車体	1	1	0
ハウインターナショナル	1	1	0
パナソニック	1	1	0
パナソニック アプライアンス社	1	1	0
パナソニック システムソリューションズ ジャパン	1	1	0

就職・進学先	計	男	女
フジパンググループ本社	1	1	0
プロパティータータバンク	1	1	0
マイクロン・メモリー・ジャパン	1	1	0
マツダ	1	1	0
ミマキエンジニアリング	1	1	0
メルコ・パワー・システムズ	1	1	0
リコー	1	1	0
ルネサスエレクトロニクス	2	2	0
レイドリクス	1	1	0
ワイジェイカード株式会社・福岡本社	1	1	0
旭化成	1	1	0
安川電機	1	1	0
伊藤忠テクノソリューションズ	1	1	0
化学及血清療法研究所 (一般財団法人)	1	0	1
京セラ	2	2	0
京セラコミュニケーションシステム	1	1	0
九州 NS ソリューションズ	1	1	0
九州工業大学 (教員・研究員・職員等)	1	1	0
九州通信ネットワーク	2	1	1
佐賀大学 (教員・研究員・職員等)	1	0	1
三菱ケミカル	1	1	0
三菱自動車エンジニアリング	1	1	0
三菱電機	2	2	0
三菱電機エンジニアリング	1	1	0
三菱電機ビルテクノサービス	1	1	0
住友電気工業	1	1	0
小糸製作所	1	1	0
新日鉄住金ソリューションズ	5	5	0
正晃テック	1	1	0
西日本高速道路 (NEXCO 西日本)	1	1	0
西日本電信電話 (NTT 西日本)	1	1	0
川崎重工業	2	2	0
総務省	1	1	0
村田製作所	1	1	0
大連工業大学	1	1	0
第一精工	1	1	0
電通国際情報サービス (ISID)	1	1	0
東京エレクトロン	2	2	0
東芝テック	1	1	0
凸版印刷	3	3	0
日産自動車	4	3	1
日産車体	1	1	0
日鉄住金テックスエンジ	1	1	0
日鉄日立システムエンジニアリング	1	1	0
日本プロセス	1	1	0
日野自動車	1	1	0
日立システムズ	2	2	0
日立ソリューションズ西日本	1	1	0
日立産業制御ソリューションズ	1	1	0
日立製作所	3	2	1
日立造船	1	1	0
富士ゼロックス	1	1	0
富士フイルムソフトウェア	2	1	1
富士通	2	2	0
富士通アドバンストエンジニアリング	1	1	0
富士通エフ・アイ・ピー	1	1	0
富士通エフサス	1	1	0
富士通ソフトウェアテクノロジーズ	1	1	0
富士通マーケティング	1	1	0
富士通九州システムサービス	1	0	1
富士通九州ネットワークテクノロジーズ	1	1	0
富士電機	1	1	0
富士紡ホールディングス	1	1	0
福岡県立高等学校教員	1	1	0
本田技研工業 (ホンダ)	2	2	0
野村総合研究所	2	2	0

8. スチューデント・レジデンス

日本人学生と留学生がともに生活することでグローバルマインドを養います。



DEKA ANGSHUMAN

情報工学府博士後期課程情報工学専攻
電子情報工学専門分野3年

寺山 裕

情報工学府博士前期課程学際情報工学専攻
機械情報工学専門分野2年

MANTHANA TIWONGSUWAN

情報工学府博士後期課程情報工学専攻
電子情報工学専門分野3年

GABORIT SYLVAIN

情報工学府博士前期課程学際情報工学専攻
生命情報工学専門分野2年

理解と思いやりで文化の壁を越える

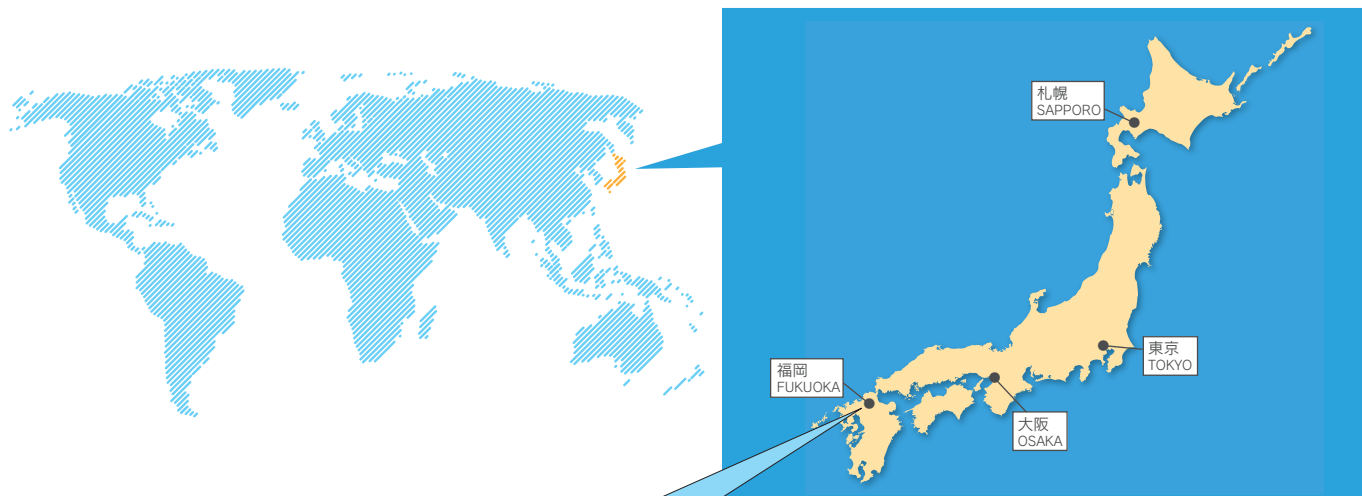
スチューデント・レジデンスは、大学院生を中心に、外国人留学生及び日本人学生等に居住の場を提供し、併せて相互の国際交流の促進を図ることを目的として整備された居住施設です。

施設は情報工学部(飯塚キャンパス)内にあり、1戸3LDKを留学生2人と日本人1人でルームシェアするというもの。3LDKの3室が個室、LDKが共有空間となり、適度にプライベートを保ちながら、生活を共にすることができます。この施設で暮らすことにより、日常生活の中で英語に触れることができ、外国の文化や習慣に対する理解も深まります。

入居者の寺山さんは「ここは僕にとって最高のリラックス空間です。研究室から帰宅するとルームシェアをしているタイの留学生が晩御飯を兼ねたパーティーを開いていて、オリジナルな食事を一緒に楽しんだり、協力して課題をこなすこともあります。卒業しても気軽に話せる友達と出逢えて幸せです。」DEKAさんは「スチューデント・レジデンスは勉強をするのにとっても便利な場所です。新しい友人に出会える機会に恵まれ、様々な文化を理解することができます。部屋には家具が付いていて、何か困ったときはフレンドリーなスタッフが助けてくれるのでありがたいです。」GABORITさんは「生活するのにとても楽しい場所です。大学にも近くて、静かなところです。ルームメイトと一緒に過ごすことは、同じ課題に取り組む者同士として、楽しいし便利だと思います。」MANTHANAさんは「スチューデント・レジデンスは第二の家のような感じです。ルームメイトと楽しく過ごせて、とても居心地がよい場所です。基本的な電化製品もあり、清潔で広々とした部屋は学生にとって最高の環境です。」と、スチューデント・レジデンスの魅力を語ってくれました。

キャンパスマップ





福岡県の主要交通機関・道路と3キャンパス



◎主要な場所から飯塚キャンパスまでのアクセス時間

JR 小倉駅 ▶ 95分	JR 博多駅 ▶ 55分	天神 ▶ 70分
北九州空港 ▶ 95分	福岡空港 ▶ 70分	

※アクセス時間はおおよその目安です。公共交通機関は乗り継ぎの時間を考慮し、余裕をもってお出かけください。

◎西鉄特急バスが飯塚キャンパス構内の運行を開始しました。

平成27年3月下旬より、福岡（天神）～八木山バイパス～飯塚バスターミナル～飯塚キャンパス構内を運行しています。

◎飯塚キャンパス行スクールバスを運行しています。

平日の8時～21時まで、主に始業・終業に合わせて10～45分間隔で運行しています（ただし授業期間外は減便運行）。

詳細は、http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/school_bus/を参照。



飯塚キャンパス

〒820-8502 福岡県飯塚市川津680-4
TEL 0948-29-7500(代)

